

議会だより

満月に雲がうっすら とうせんぼ (中央小4年 松尾アム)

シリーズ『えがお』
えがおでラストサポート



決算にみる施政方針

「育てる施策の改善と人の繋がり」を検証する …

2

ページ

9月定例会 補正予算案 可決 ……………

6

ページ

町の考えを問う (一般質問) ……………

17

ページ

令和4年度 9月定例会

町長の予算方針では子育てや地域課題である人との繋がりを重点とした事業が盛り込まれていた。コロナは町民生活や産業に大きな影響をおよぼしたが、町民へのサービスは向上されているのか、宮下町政3年目となる令和3年度一般会計・特別会計など決算を**検証!**

一般会計

歳入決算総額	85億 1,325万円
歳出決算総額	77億 1,327万円 (執行率 84.8%)
差引額	7億 9,998万円
翌年度(令和4年度)繰越額	3億 6,524万円
実質収支額	4億 3,474万円

令和3年度 決算 認定

特別会計・企業会計

歳入決算額	45億 4,933万円
歳出決算額	44億 3,928万円

ここが聞きたい!!

財政状況

質問 将来負担比率は適正に推移しているのか。

回答 △17.4%で推移し、適正に運営されている。(中平議員)

質問 財政指標は良好であるが財政力指数の目標はあったのか。

回答 コロナの交付金で依存財源が増え、指数が下がった。当町では4.0位を目標としている。(坂本議員)

質問 未収入金が多い。財政への影響が懸念される。滞納世帯の把握はできているのか。

回答 滞納者の把握は(松井議員)

質問 新井商店街にぎわい事業としてポータルサイトのホームページが作成されたが現在の状況は。

回答 ポータルサイト(米山郁議員)

質問 木材破砕機の利用状況と農閑期の冬場の利用は可能か。

回答 5件の利用があり、果樹園の枝処理は対象外である。安全講習会の開催を増やし、年間を通じて利用を期待したい。(塩沢議員)

質問 鳥獣対策事業として、最近クマの出現などが話題となっているが検証されたか。

回答 クマの状況調査はしていない。電気柵の効果もあり大型獣は減っている。(間瀬議員)

商工農事業

している。県の滞納整理機構を活用し、継続委託もあるが成果は上がっている。

質問 コロナ関係の事業者支援で不用額が多いのはなぜか。

回答 コロナ第6波対応で補正計上したが、申請が予想を下回って不用額を生じた。予算の立て方を精査する必要がある。(加賀田議員)

を構築中で完了はしていない。完成目標をたて進めたい。



教育・子育て

質問 ICT支援員を2名増員されているが支援内容と効果は。

(塩沢議員)

答弁 主に子供たちが使うタブレット授業への展開、操作の監視、トラブルの対応にあたっては。コロナ対応でオンライン授業も実施した。

質問 子育てアプリ母子モ導入後の状況は。

(米山郁議員)

答弁 アプリ登録者は239名で、妊娠届から始まり、両親学級、予防接種などの案内が円滑に進んでいる。



福祉

質問 ひまわり乗車券一人当たりの補助金額が少なく、利用率も53・4%と低い。制度設計に問題があるのではないか。(森谷議員)

答弁 利用者アンケート結果では25%の方が足りないとの回答と、逆に余る方もいる。見直す時期がきている。今後デマンド化に合わせて検討を進める。

質問 長年の課題である自治会問題は進んでいるのか。(中平議員)

答弁 昨年度8月から自治体対策会議を開催。各自治会で困ったことを共有化し、問題の洗い出しをしている。

質問 消防団の報酬金

額の妥当性と支払い方法改善は。

(加賀田議員)

答弁 消防団の報酬は年額3万6千500円とする方向で報酬審議会に提起し、個人口座へ振り込むことを検討している。

保養施設の行方

質問 温水プールは毎年2千500万円位の赤字が計上されているが町民以外の利用数は把握されたのか。

(大蔵議員)

答弁 令和3年は把握していない。現状を把握し、分析したうえで赤字解消に向け、料金体系の見直しも検討したい。

質問 清流苑運営で保養宿泊施設基金3億7千円余を繰入れているが実計では赤字であるが実

質は赤字となる、対策はあったのか。

(松井議員)

答弁 コロナによる雇用調整助成金などの公的資金が受けられず一般会計より繰入補填をした。まちづくり観光センターと共催で集客に取り組んでいる。

質問 清流苑の設備更新や運営していくための資金確保はどのようにしていくのか。

(米山義議員)

答弁 経営の健全化をはかり、公営企業会計のなかで積み立てをしていく。



議会の視点



令和3年度は、一般会計77億円、特別会計と企業会計の合計44億円余の歳出であった。

令和2年度同様コロナ対応に明け暮れた感があり、行政の苦労も大きかったと思われるが、懸命に対応されたと感じる。

累積の未収入金が7千600万円と多額であり、県の滞納整理機構の力を借り、町職員の努力により回収しているが、滞納額は思うようには減らない。困難な事情もあるが、税の公平性・納税の義務という観点から、一層の努力を望みたい。

宮下町政3年目で、町長方針に沿った事業計画を執行されている。大きな町民の期待がかかっている現状で、大幅な人事異動があり仕事への影響が懸念された。事業に沿った適切な人員配置が必要で、計画的な人財育成と人員配置がされたのか疑問である。

上下水道使用料の徴収間違いなど、基本的な問題が発見されたが、公平性に加え、税や使用料は町財政に影響する。

正確な業務の執行により、自主財源の確保につなげて欲しい。

政への影響と町民生活への負担は？



ている一方で町の歳入、財政への影響は小幅なものとなった。今後財政運営が必要となってくる。概ね健全な財政運営であるが未来を

令和3年度主要財政指標

名称	町の数値	基本的な数値
経常収支比率	80.20%	70～80% 人件費など毎年かかる固定費の割合
実質収支比率	9.50%	3～5% 標準財政規模に対する実質収支の比率
実質公債費比率	4.80%	一般会計が負担する借金返済費用の割合。数値が高いほど他の事業にあてる財源を圧迫する。昨年度から0.7ポイント改善。
財政力指数	0.39%	数値が高いほど、自主財源の割合が高く、財政力が強い。昨年より0.012ポイント減。
将来負担比率	△17.40%	マイナスが大きいほど良い
実質赤字比率	—	黒字のため—（マイナス）表記

POINT!

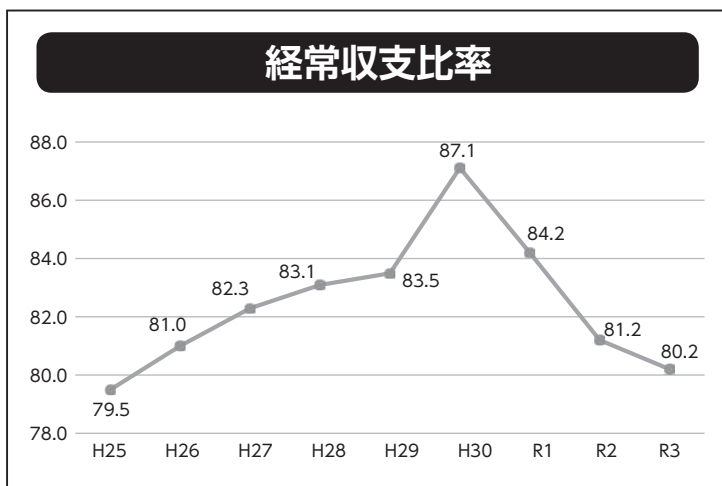
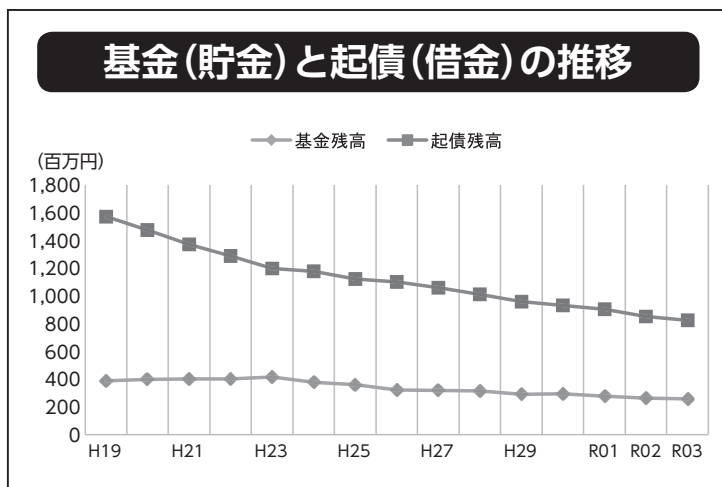
基金(貯金)が多いと税金が有効に活用できていない反面、少ないと非常時に不安が残る。

基金と起債のバランスは常に一定の間隔で推移していくのが望ましい。

単年度での金額より時系列で増減を確かめることが大切である。

目安としては標準財政規模の20%程度の確保が望ましい。

松川町は20.6%で概ね良好といえる。



POINT!

経常収支比率は、地方公共団体の財政構造の弾力性を表したものの。

経常的な経費(人件費、扶助費、公債費など)に、経常的な収入(地方税、地方交付税、地方譲与税など)がどの程度充当されているかの比率を示す。

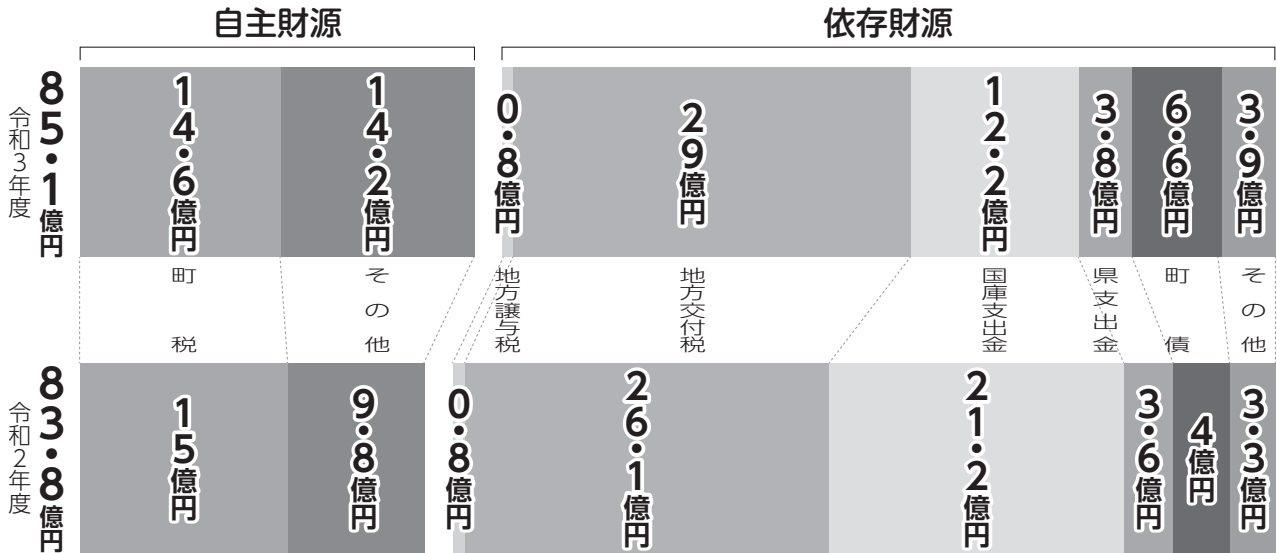
例えば、一般家庭で言うところの「エンゲル係数」みたいなもの。

前年度に比べて1ポイント下降し改善されている。



コロナ禍 2年目の決算! 町の財

コロナ感染拡大がやまず町民生活や町内の産業にも影響が出は自主財源である町税の回復や地方交付税を効果的に活用する見据えた計画的な財政運営を望む。



歳入は昨年度より約1.3億円ほどの増額。

内訳をみると自主財源の町税が減収。コロナ禍での町民の苦境がにじみ出る。町税は減収だがふるさと納税による寄付金や繰越金の増加が目立つ。経済活動の縮小、行動制限などの町民生活に反して決算数字上で町に大きなダメージはなかったことになる。コロナ禍は更に複数年に及ぶと考えられるため、影響はいまだ大きいと言わざるを得ない。

町の総会計(特別会計含む)

1世帯あたりでみると(4人家族で換算)

	令和3年	令和2年	差額
収入	387万円	386万円	+1万円
支出	346万円	334万円	+12万円
貯金	84万円	78万円	+6万円
借金	267万円	276万円	-9万円

監査の視点

令和3年度の決算は、コロナ禍2年目の感染拡大のなか微増となりました。実質収支は4億3千474万円の黒字でしたが前年度との比較で1千508万円の減となりました。実質収支比率は9.5%と前年度より0.8ポイント下降しました。県下の町村平均8.6%を0.9ポイント上回っており標準財政規模からみると概ね適切といえます。

町債残高は一般・特別会計合わせ総額82億3千512万円で、前年度に比べ2億8千579万円減少(△3.4%)し、実質公債費率も4.8%と前年度より0.7ポイント下回り総じて健全な財政状況が維持されています。

しかし今後は大型事業が複数見込まれる中、町の財政運営環境は厳しい状況にあるといえます。

固定資産税の評価替えに伴い新たに路線価を取り入れた評価基準の見直しが実施され税額に変動が見られました。地価の価格が下落傾向にある中、納税者に対して説明を徹底するとともに適切な課税業務の執行に努めてください。

水道光熱費の高騰が財政を直撃！ 定例会補正予算案…可決！

一般会計と特別会計7会計について補正予算が上程され、すべて可決された。昨今の光熱費の値上がりにより、水光熱費が4,000万円ほど増額補正されたことが特徴的である。

また、特養松川荘の災害時対応の発電装置設置費用は、当初予算3,600万円に加え1,800万円が増額された。災害時の自家発電により、最低3日間の給電を全館対応にするものである。

一般会計分

68億4,519万円(補正前)+1億9,000万円(補正額)=70億3,631万円

歳入補正の主なもの

項目	金額
町税	2,723万円
地方交付税	△9,826万円
国庫補助金	2,222万円
寄付金	130万円
発電事業から繰り入れ	546万円
ふるさと応援基金から繰り入れ	1,039万円

歳出補正の主なもの

項目	金額
光熱水費	3,887万円
財政調整基金へ	546万円
生東保育園解体	660万円
特養松川荘非常用発電装置	1,800万円
オミクロンワクチン接種事業	3,631万円
肥料、農薬高騰支援	300万円
部奈展望公園案内板設置	39万円
温水プール修理	430万円

そこが聞きたい!!

肥料・農薬の支援は

質問 今回300万円の補正計上があるが、どのように進めるのか。

(塩沢議員)

答弁 今、建築・建設業界は従業者が減少しており、災害時などを考えると、維持育成は不可欠だと考える。他の方法との併用も考えながら進めていく。

住宅リフォーム

質問 住宅リフォーム補助金が、100万円増額補助されている。建築業界だけに絞る事は不公平を感じるが、他業種との均衡をどう考えるか。

(加賀田議員)

答弁 住宅リフォーム補助金は、100万円増額補助されている。建築業界だけに絞る事は不公平を感じるが、他業種との均衡をどう考えるか。

水道光熱費の

補正は適正か

質問 今回の4千万円近い補正計上について、施設により計上割合にばらつきがあるのはなぜか。

(大蔵議員)

答弁 荏原環境プラント(株)の電気を利用しての施設といたっていない施設という差がある。各課が精査して計上した。

地方交付税

なぜ減額か

質問 地方交付税が9千800万円の減額になっている。

当初予算申請時に、もう少し正確な交付が受けられるように、計算ができなかったのか。
(米山郁議員)

答弁 基準財政需要額において、すでに起債償還が終ったものや、基準財政収入額では市町村民法人税が増額になったことから、交付税の減額になった。次年度以降の算定においては、正確性を高めていきたい。

人・農地プラン

123万円は

質問 コーディネーターの委託料とはどのようなものか。
(米山郁議員)

答弁 現在取り組んでいる地域は部奈、大沢南部、増野地区と3地区である。

他にも福与地区や前河原地区などでも進めたいという声があるが、コロナ禍などによりなかなか進まず遅れている。そこでコーディネーターの力を借りて、遅れを取り戻したいという意図で予算計上した。

特養発電設備

1千800万円は

質問 非常用の発電設備として、当初予算で3千600万円計上してあり、今回1千800万円追加する理由を聞きたい。(森谷議員)

答弁 特養は60年間使う計画で、あと19年間館内の部分対応であったが、全館対応に変更するもの。

一般会計補正予算

討論

反対意見

生東リズム室などの解体に関して、まず払下げなどの検討をすべきだ。特養松川荘の発電装置の課長説明に整合性がなかった。
(加賀田議員)

生東リズム室などの解体を、住宅供給公社へ委託するのは反対。特養松川荘の発電装置の金額が高すぎる。
(川瀬議員)



同タイプの喬木荘の発電機

教育長の任命

教育長(再任)

小平 順一氏(62歳)

任命の討論

反対意見

中学校の制服が改定されたが、制服は中学校だけでなく町民共有の物であるはずが、改訂に至るプロセスに疑問を感じる。教育長が、イニシアチブを取れず、この一例からも教育長として資質の欠如と考える。
(松井議員)

PTAが言うからとか、大多数が望むからなどの理由だけで、決めているように思える。少数意見に耳を傾ける姿勢が感じられず、町長に追隨して、教育者としての信念が無いことに落胆する。
(加賀田議員)

賛成意見

現教育長は就任後1年6カ月と日が浅い。もう少し続けてもらい、評価をしたい。
(森谷議員)

教育委員の任命

教育委員(再任)

石田 喜則氏(66歳)

松川町選挙管理委員と補充員の選任

選挙管理員と補充員の任期が満了にともない8人を選任した。

選挙管理委員

水野はる子氏 名子
宮下 佳弘氏 大島
下澤 洋貞氏 生田
鎌倉 和志氏 上片桐

選挙管理委員補充員

知久 克志氏 古町
矢澤 覚氏 新井
湯澤 直人氏 上片桐
中村富士子氏 生田

請願2

「小渋川部奈橋の永久化に関する請願書」

賛成意見

今まで許可されてきた橋が許可されないことは疑問。住民の利便性を考えると橋は必要性が上部機関に働きかけて欲しい。
(森谷議員)

(全員賛成で採択)

陳情3

「不登校児童に対して、多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める陳情

賛成意見

多様な子どもたちの実情に添った教育の在り方が必要だと思う。フリースクールの支援を強めるべき。
(米山議員)

(賛成多数で採択)

意見書を提出

だより

総務産業建設 常任委員会

日(水)社会文教常任委員会を行い、それぞれ付託
て現地調査も実施しました。

と審査を分担し、能率的に処理するために設置された機関です

総務産業建設常任委員会には、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・リニア対策課・建設水道課・議会事務局の分野を担当しています。

質問・意見

答 弁

①上片桐駅北町有地の侵入防止柵修繕
他とあるがその内容は。

②人・農地プラン集落会議コーディネ
ート委託は今年新たな取り組みと
いう形で示されているがこれに準じ
た内容であるかについて。

③果樹園地帯は水田地帯と違い集約化
が難しい、説明を待っているのでは
なく、町としてどうしたらよいかを
本気になって考え、しっかりした方
向性を持つのが一番肝心であると思
うが。

④室内温水プールの光熱費は、特にお
金がかかり、維持するのは大変であ
る。子どもたちの育成に使用するこ
とは良いが、町民の健康維持の意義
もある。町民利用率は少ないので、
対策をとる必要があるのではないか。

①上片桐駅北町有地部分のトラロープで囲っ
てある丸太杭が腐って、子どもたちも通り
危ないと地元から要望もあり修繕と、イン
ター駐車場関係で防除ネット修繕を計画し
ている。

②新たな取り組みはインターネット上でも公
開されている。人・農地プランから地域計
画に移行プランなどについての詳しい説明
は、これからでありその後お知らせする。

③農林水産省の情報だけでは不足する部分も
あり、コーディネーターとして農業経営学
を主に専攻され、伊那谷の農業事情に精通
している信州大学の先生にお願いし、方向
性を見出したい。会議の監修と集落会議で、
結論の着地点の導き方などを主にお願いし
ていく。

④施設の目的は、町民の健康維持、スポーツ
の増進などであり、これは大事なことで引
き続き運営する。現在国でも環境にやさし
いエネルギーへの転換とか、補助制度のメ
ニューもあり、別の燃料のことも今後考え
ていかなければいけない。料金体系の見直
しも含めて検討する。

審査を付託された議案 令和4年度

松川町一般会計補正予算（第3回）

松川町水道事業会計補正予算（第1回）

松川町下水道事業会計補正予算（第1回）

松川町信州まつかわ温泉清流苑会計補正予算（第1回）

付託された補正予算に関して、当委員会で質
疑と討論を行い、委員会として原案通り認める
ことが妥当と決しました。

「小渋川部奈橋の永久化に関する請願」に関し
ても全員賛成で採択と決しました。



綺麗に仕上げで安全確保を



野積みされた部奈橋の橋脚

調査・研究

温水プールのウォータースライダー階
段の修繕場所、請願が出されている部奈
橋の現状、道路メンテナンス事業の台城
橋補修工事箇所、及び都市公園施設長寿
命化計画予定の台城公園を現場視察しま
した。

令和3年度繰越明許りニア関連事業

緊急

町道洞新線はニア運搬道路に活用していくための改良が急がれる。3工区工事請負契約の締結を審議

可決

令和4年

第4回臨時会

会期/8月4日



7月25日に開催された議会全員協議会において既存の事務所と宿舎の写真にて詳細に説明を受け、臨時会では質疑はなかった。

契約金額
7千863万9千円

契約期間
令和4年8月4日
～令和4年10月31日

現在施工中の町道洞新線の新設改良工事3工区目として、片桐松川右岸の国道付近にある民間事業所と宿舎の移転に関する補償工事。

令和4年

第5回臨時会

会期/8月26日

元気センター(仮称)実施設計・発掘調査事業

基本設計を終了し、実施設計に移行する予算と旧ハローミヤ建物跡を除く1500㎡の発掘調査予算について審議

可決

補正予算(第2回)

単位:万円

補正予算額	補正前の額	計(補正後)
2,230	68億2,289	68億4,519

歳入

単位:万円

科目	補正額
公共施設等適正管理推進事業債	1,490
繰越金	740

歳出

単位:万円

事業名	補正額
元気センター(仮称)実施設計業務	1,660
埋蔵文化財発掘調査費	570

反対

プロポーザル金額より最終段階での金額差がありすぎる。基本設計ではまだ改善の余地があり、完成度が低い。(加賀田議員)
町は他施設の改修を多数抱えている。物価上昇のなかで建設予算は再検討すべき。(川瀬議員)

討論

実施設計で問題点を解決することを条件とし早期実施を。
コミュニティとしての新しい形を実現するための施設であり進めていくべき。(米山郁議員)

賛成

質問 プロポーザル段階で要望など精査し、安全対策費用が網羅さ

質問 実施設計の入札方法は。(松井議員)
答弁 随意契約もありえる。業者選定委員会の中で決定していく。
質問 建設工事費の構成する要素として計上した。今後検討していく。

質問 最終案の金額5億8千98万円より増額していく可能性があるか。(塩沢議員)
答弁 意見、要望による増額または、部材など仕様を落とした減額もありえる。

質問 分離発注するために建設費2千万円を加算してあるが、地元業者が入札可能なのか。
答弁 最終的な建設費が出たので国の積算基準により安全対策経費を盛り込んだ。

総括

議会だよりモニターアンケート集約 7月156号

モニター
様の一言

議会の内容を、わかり易く伝える情報紙であってほしい

【問3】154号アンケート集約結果報告方法について

- モニターの意見を真摯に聞いて改善に努めているので良かった。

【問6】156号で関心がある項目は

- 人口減少を解消するためには、働く世代の移住をいかに進めるか、働く場所の確保をどうするかなどが問題、「この町に暮らして」の生の声を活かす施策が求められる。

【問7】文字の大きさ・配置・字体・段数は

- 議決結果は報告として伝えるべき内容ですが高齢者には読みにくい。

【問10】156号は20ページでしたがページ数について

- 町内には広報、館報、議会だより、社協だより、ボランティアだより、地区館だより…情報紙が多いのでページ数は少ないほうがよい。

問7 文字の大きさ・配置・字体・段数は	
1	読みやすい
2	読みにくい
3	無回答
問8 イラスト・写真の数は適切か	
1	多すぎる
2	ちょうどいい
3	少ない
4	無回答
問9 説明があったほうが良いと思う語句はあったか	
1	ある
2	ない
3	無回答
問10 156号は20ページでしたがページ数について	
1	適数である
2	少ない方が良い
3	もっと多くてもよい
4	無回答
問11 チャンネル・ユーで定例会、全員協議会、一般質問を見ましたか	
1	毎回見ている
2	時々見ている
3	見ていない
4	無回答
問13 今後、より親しまれる、読んでみたいと思われる議会だよりに必要なこと	
1	名称を親しみやすくする
2	表紙に工夫
3	議会だよりを各家庭配布以外に置く場所を増やす
4	住民参加コーナーを増やす
5	記事の数を増やす
6	記事の内容を専門的にする
7	その他

問1 過去にモニターアンケートをしたことがありますか	
1	ある
2	ない
問2 154号モニターをしてみてどうでしたか	
1	良かった
2	それほどでもない
3	大変だった
4	無回答
問3 154号アンケート集約結果報告方法について	
1	良かった
2	それほどでもない
3	大変だった
4	無回答
問4 154号のアンケートを活かした議会だよりになっていますか	
1	改善されている
2	改善されていない
3	どちらともいえない
4	無回答
問5 今後モニター依頼について	
1	依頼があれば引き受ける
2	できれば引き受けたくない
3	どちらともいえない
4	無回答
問6 156号で関心がある項目は	
1	臨時会 P2
2	本議会(国民健康保険の取り組み) P3
3	本議会(定例会)補正予算 P4・5
4	委員会だより P6・7
5	議会のうごき P8
6	北部ブロックニュース P9
7	議決結果 P10
8	目次・お知らせ P11
9	一般質問 P12~P19
10	町民から(この町に暮らして) P20
11	議会コーナー P20
12	I Have a Dream P20
13	その他

【問12】今後、議会だよりで掲載した方が良い内容、特集すべきテーマは

- 議員の方は町民の代弁者であるわけですが、町づくりに対して議員さんの夢を語ってもらうコーナーがあってもいい。意外な一面を発見できる。
- 新型コロナ対応に関する町としての対応について。

【問14】議会だより全体の感想、要望等は

- 北部地域まちづくり構想について図が細か過ぎてわかりにくいと感じた。松川町に関連することに絞って説明図でもよかったと思う。
- モニターになることで議会だよりをじっくり読むようになるので、色々な方に依頼しては如何ですか。議会に対する理解が深まると思います。

地域の課題を協議し県へ要望

下伊那北部5町村（松川、高森、豊丘、喬木、大鹿）が集う「下伊那北部ブロック町村議会」が、8月25日に大鹿村交流センターを会場に開催された。当日は、国・県議員、地域振興局長など来賓の出席もあり盛会であった。ここでは毎年、研修の他に県への地域課題



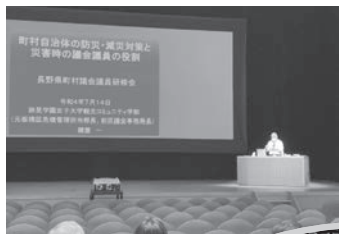
要望を各町村から出し、今後県議会にて採択されることを、切に願う。

デマンド交通導入の目的を明確に

特徴は利用目的の明確化、運行事業者との住み分け、市民のみの利用とし、誰もが利用できるのではないが利用増に繋がっている。システムの導入により、受付業務、利用状況などデータを分析が容易にでき、職員の仕事量も軽減され利便性もあると感じた。

このシステムは万能ではなく、当町で運行するデマンド交通の目的は何か、利用者の範囲は、時間帯をどうするか、交通事業者との住み分けなどを整理し、より良いデマンド交通の事業化を行うべきである。

議会のようどき



対応をするべきとの内容であった。松川町議会では議会基本条例があるが、災害などの対応について条例に盛り込むかは調査検討中である。

災害時の議会・議員の使命は住民の命と尊厳を守ること、市町村当局と協働し、災害関係機関、国民に働きかけることである。「議会BCP」で効果的な

弁護士 太田雅幸氏「議会におけるハラスメント」

ないが、会話の中で何気なく発してしまう言葉がハラスメントに該当する場合がある。もっと意識の改革が必要。



7月27日に富山県高岡市のコミュニティハウス「ひとのま」を視察した。小さな一軒家は、不登校や引きこもりの子どもたち、刑務

所から出てきた人、DV被害に苦しむ人、多種多様な背景を持つ人が集まる「居場所」である。玄関を入ると大きな声で挨拶、みんな明るい。月3千円の会費を支払ってなぜ「ひとのま」に集うのか。場所と食事を提供、やりたいことをサポートしている。当町では不登校支援プログラム作成に100万円を投じた。「お膳立てされたことは望まない。只自分の居場所が欲しいだけ」と声が聞こえるようだ。行政側にはいつでも柔軟にサポートができる体制づくりがあればよいのではないか。

ただ仲間との居場所が欲しいだけ

南信州議会ニュース

その1 徐々に見えてきたリニア長野県駅周辺!!
 その2 火事は本当に怖い!!

リニア新幹線の駅周辺の用地も徐々に更地化され、リニアにたいする期待が膨らんできています。一方で駅周辺についての情報がなかなか見えないのが現状です。

先の連合議会に於いて「リニア駅周辺に係る検討報告」として飯田市リニア推進部が作成している、有識者が中心に検討された内容がユーチューブで報告されている中から抜粋しての報告でした。

8月に開催された広域連合議会で、飯田市リニア推進部が中心となって検討されているリニア長野県駅(仮称)周辺の様子が報告され、徐々に見えてきました。

飯田広域消防本部からの上期統計が発表され、これから冬に向けて火事の怖さを再確認させられました。

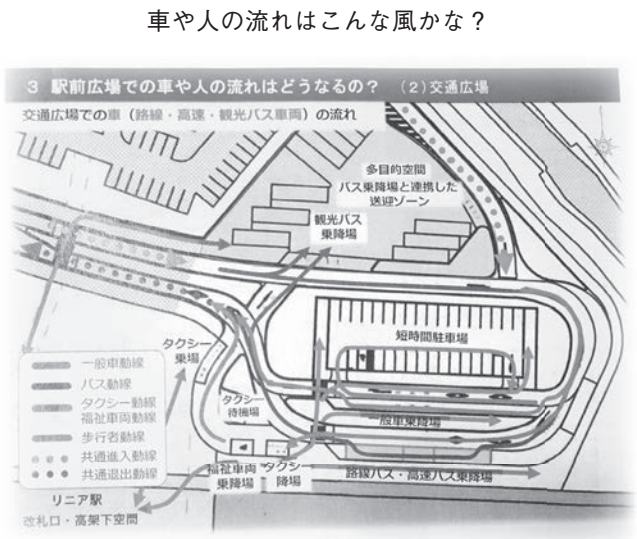
リニア新幹線に関するユーチューブは20数個あります、インターネットを左の方法で検索し、是非ご覧いただければと思います。今回は「オンライン報告会2」から抜粋しての報告でした。

インターネットでご覧ください

飯田市ユーチューブで検索 →

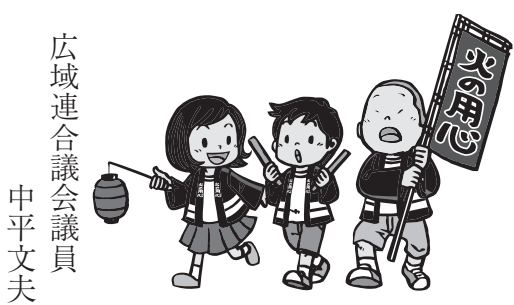
ホーム画面よりリニア中央新幹線説明下「再生リスト全体を見る」をクリック →

新幹線関係が表示されるので見たい動画をクリック。



駅前広場の配置はどうなってるの?

飯田市ユーチューブより抜粋



財産や思い出を全部なくしてしまおう

昔から「火事は財産や思い出を全部持って行く(灰にする)」と言われます。場合によっては人の命も奪います。

昨年の統計的では「たき火」「ゴミ焼き」「こんろ」「ストーブ」「電気機器」が上位を占めます。

冬に向かい火を使う機会が多くなり、くれぐれ也十分注意をお願いします。

議会 LINE サポーター ご意見ありとうございます

松川町議会では町民のみなさまの声を、よりきめ細かくお聞きしたいと考え、「議会サポーター LINE」を立ち上げサポーターを募集いたしました。4月から LINE サポーターより多数のご意見を賜り活発な意見交換がなされております。

1

放置看板などの景観について

- ・ 不法な看板撤去
- ・ 閉店・空き店舗の看板撤去
- ・ 景観条例の充実



2

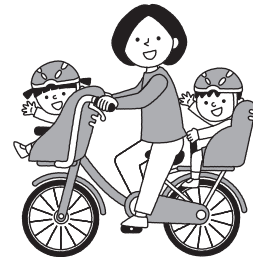
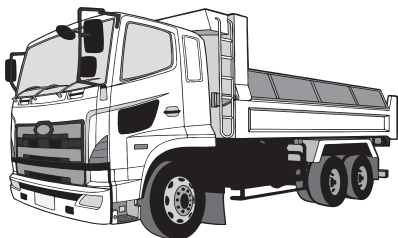
元気センター(仮称)について

- ・ 必要性に疑問
- ・ 既存の施設と重複
- ・ 子育てへの投資を優先すべき
- ・ 子育て世代の議員不足

3

リニア問題について

- ・ 住民への理解を求める動きがたりない
- ・ 役場セブンイレブン前カーブの安全対策
- ・ 冬場の安全確保のための別ルートを



4

子育て支援施設について

- ・ おひさまは使いづらい
- ・ 高森町の先進性を見習って
- ・ 遊具のある公園を

議会ではサポーターの皆様から出された課題を一緒に解決していくような仕組みづくりを考えています。今後ともご協力宜しくお願い致します。

LINE サポーター募集!!

サポーター
登録の流れ

① QRコードを
読み込む



➔ ②各情報を
入力

➔ ③ LINE サポーター
事務局から招待

➔ ④登録

議 決 結 果

令和4年 第4回臨時会議決結果

●全員一致で議決されたもの

	件 名	結果	内 容
締結	令和3年度（繰越明許）町単町道洞新線道路新設改良工事3工区請負契約締結について	可決	契約金:7,864万円 契約の相手方:株式会社システムハウスR&C 東京支店

令和4年 第5回臨時会議決結果

●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

	件 名	塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	坂本勇治	森谷岩夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
令和4年度補正予算	松川町一般会計補正予算（第2回）について	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決	2,230万円追加し、68億4,519万円とする。

●全員一致で議決されたもの

	件 名	結果	内 容
条例	松川町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	法第25条の10第1項の認定を受けた雨水貯留浸透施設整備計画に係る雨水貯留浸透施設の設置を行う場合の改正に伴うもの。
令和3年度決算	一般会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 85億1,325万円 歳出 77億1,327万円
	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 11億4,321万円 歳出 11億1,265万円
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 1億7,108万円 歳出 1億7,021万円
	介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 14億3,859万円 歳出 13億9,823万円
	保養宿泊施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 6億3,477万円 歳出 2億7,133万円
	発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入 1,470万円 歳出 924万円
	水道事業会計決算認定について	認定	収益的収入 2億9,625万円 収益的支出 2億7,347万円 資本的収入 1,297万円 資本的支出 1億7,402万円
令和4年度補正予算	下水道事業会計決算認定について	認定	収益的収入 6億 614万円 収益的支出 5億6,249万円 資本的収入 2億3,157万円 資本的支出 4億6,760万円
	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2回）について	可決	803万円追加し、11億4,023万円とする。
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）について	可決	76万円追加し、1億7,548万円とする。
	発電事業特別会計補正予算（第1回）について	可決	546万円追加し、1,437万円とする。
	水道事業特別会計補正予算（第1回）について	可決	収益的支出 3億1,309万円
	下水道事業特別会計補正予算（第1回）について	可決	収益的支出 5億7,844万円
信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算（第1回）について	可決	収益的支出 4億1,645万円	
締結	道路メンテナンス事業 町道古町境の沢線橋梁補修工事請負契約の締結について	可決	契約金:5,500万円 契約の相手方:有限会社 宮澤組
専決	物損事故に関する損害賠償の額の決定について	可決	損害賠償額:106万円 損害賠償の相手方:松川町在住 男性
選任	松川町教育委員会委員の任命について	同意	石田 喜則氏（再任）
選任	松川町選挙管理委員及び同補充員の選挙	同意	選挙管理委員：水野はる子氏、宮下佳弘氏、下澤洋貞氏、鎌倉和志氏 同補充員：知久克志氏、矢澤覚氏、湯澤直人氏、中村富士子氏
請願	小波川部奈橋の永久化に関する請願	採択	部奈第四自治会の住民にとっては、災害時や工事期間中のバイパス道路であるため、過去のような仮橋でなく永久橋と接続道路の建設を願うもの。

●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

	件 名	塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	坂本勇治	森谷岩夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
令和4年度補正予算	一般会計補正予算（第3回）について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	1億9,012万円追加し、70億3,531万円とする
	介護保険事業特別会計補正予算（第1回）について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3,636万円追加し、14億2,723万円とする。
選任	松川町教育委員会教育長の任命について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	同意	小平 順一氏（再任）
陳情	不登校児童生徒に対する多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の採択を求める陳情	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	松川町在住 木下 真理子氏 より提出。
発議	不登校児童生徒に対する多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の提出について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	不登校の子供さんがフリースクール等へ通うことは、経済的にも大きな負担があることから、行政への支援を求めるもの。

7月～9月 主な議会日程

7月1日(金) 広報部会
11日(月) 広聴部会
14日(木) 町村議会議員研修会
25日(月) 議会全員協議会、議員協議会
27～28日(水、木) 社会文教常任委員会視察研修
8月1日(月) 議会運営委員会
4日(木) 第4回議会臨時会、社会文教常任委員会
23日(火) 議会全員協議会
25日(木) 北部ブロック町村議会研修会
26日(金) 第5回臨時会、議会全員協議会、議員協議会
30日(火) 広報部会

9月2日(金) 第3回定例会開会、総括質疑
5日(月) 総務産業建設常任委員会
7日(水) 社会文教常任委員会
15日(木) 第3回定例会 一般質問、議員協議会
20日(火) 議会全員協議会、第3回定例会閉会、議員協議会、議会運営委員会
21日(水) 広報部会研修会
26日(月) 広報部会、広聴部会
29日(木) 議員協議会、高森町議会との交流会
30日(金) 広報部会

町の考えを問う



マチイロでご覧いただけます

い
っ
ぱ
ん
質
問

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明も求めることです。

9月定例会では7人の議員が登壇し、町政に提言や質問を行いました。質問の持ち時間はひとり20分です。スペースの都合上、質問者の責任において、質問と答弁を要約して掲載しています。

各議員の通告通りに掲載しておりまのでページ見出しと違う場合があります。

ページ	質問者	質問事項
P 17	坂本勇治	・町の道路整備に向けての取組は
P 18	森谷岩夫	・日本梨再生プロジェクトの松川町の取り組みは ・農業生産資材の高騰対策は考えられるか
P 19	塩沢貴浩	・交通安全協会の現状と課題について ・子供用品のリサイクル、リユースのための取組について
P 20	間瀬重男	・リニア対策関連事業について ・森林資源の活用について
P 21	米山郁子	・時代に沿った図書館・資料館改修か
P 22	米山義盛	・行政評価について
P 23	加賀田亮	・3年半の「実績」と、残り半年の到達目標について問う

今月の表紙

◎写真の笑顔

双葉保育園の運動会でのヒトコマ。
つぼみさんの一生懸命さが伝わってきます。

◎俳句の想い

「満月に雲がうっすら とうせんぼ」
満月に少し雲がいたずらしている、ほほえましがにじみ出ている。

Information

◎ 議会が YouTube でご覧いただけます



◎ 議会サポーター LINE 意見交換

現在意見交換が活発に行われています。町を少しでも良くしたい思いが伝わっています。

議会コーナー



議場では200インチの大型スクリーンが設置されリモートによる講習会など幅広く活用できるようになりました。

誤記によるお詫びと訂正

松川町代表監査委員として大島英嗣氏が新任されました。任期はR4.7/1～R8.6/30の誤りでした。



坂本勇治 議員

問 町の道路整備に向けての取組は

答 道路整備は大変重要と感じている

大型車両の通行が出来る南北を結ぶ道路は複数あるが、東西を繋ぐ道路は松川インター大鹿線の県道のみだ。

住民生活はもちろん、農商工の発展を見据えたよりスムーズな道路網の整備はもちろん、災害時の安心安全の確保にも、複数の東西を結ぶ道路は不可欠だ、長期的な道路網の整備計画作成を望む。

(問) 町の住民生活や農商工の発展を考えた道路整備をどのように考えて取り組んでいるのか。

(町長) 東西を縦断する、基幹道路が主要地方道松川インター大鹿線しかない事は認識している。

課題の解決に向けて、リニア発生土運搬に関連して、町道洞新線と護岸線の整備に着手している。

発生土を利用した、古町地籍の前河原道路新設事業を進めている。町道284号線の運動公園西側のJR飯田線の鉄橋下のクランクの箇所解消に向けて、国土交通省天竜川上流河川事務所と長野県とも現在協議を進めている。

また、長年休止状態だった主要地方道飯島飯田線上片桐バイパス

の先線の調査業務が長野県において昨年末に予算化されている。

(問) 令和2年の4月現在の資料で、町道の5.5m以上の道路の改良率は、松川町は23.7%だ。町の県平均を12.1%下回っている現状をどのように認識しているか。
(高森町は40.9%、飯島町は34.2%)

(町長) 数字は長年の蓄積の数字、道路新設や拡幅に対しては、住民への丁寧な理解と説明、土地の買収などもある。拙速に数字を上げるといふ方向性ではない。

(意見) 先ず計画を立てなければ住民への丁寧な理解と説明は出来ない。

(問) 71号部奈線の中

川村に繋がる小渋川に架かっていた部奈橋は、永久橋の設置が理想だが、一日も早い復旧も大事だ、現在の状況は。

(課長) 河川管理者である国土交通省の河川占用許可が必要な中で、河川法と道路法の基準を満たさない限り、許可はできないと言われている。

(問) 清流苑とむらやま公園を繋ぐ床固工があり、全国にも増水時

に通行止めとなる潜り橋は数多くある。排砂トンネルの完了後の土石流の影響も多大だと考えるが、部奈橋付近の護岸整備と共に床固工の設置を要望するなどの提案についてどのように考えるか。

(課長) 生田三区からは、竜東横断道路建設による永久橋の建設要望も出ている。今後とも天竜川上流河川事務所と相談していく。



部奈橋の架かっていた場所
町道ではない?先ずは町道認定が先か

※床固工:河川の土砂が削られるのを防ぐ工法

問

和梨の振興方策をどう進めるか

答 担い手の育成に力を入れる



森谷岩夫 議員

いっぱん質問

6月末に南信州地域振興局、JA、南信試験場、松川町ほか6行政が参加して、日本梨産地再生プロジェクトが発足した。5年計画で、実態や課題を明確にして次代に残せる日本梨産地の再生を目標としている。この地域の主産地でもある松川町は、特に力を入れて事業推進してほしい。

2問目の農業生産資材（特に肥料）の高騰に伴う、行政としての補助事業も早急に実施してほしい。西南部の町村では燃料高騰と合わせて対策が進んでいるが。

(問) 松川町は梨産地として全国に知られ、栽培する農家も大変な努力をする中で、産地を維持発展させてきた。この間梨産地で生活の向上を図ってきた農家が圧倒的に多い。しかし生産者の高齢化と後継者不足によりこの13年間で44%の面積になってしまった。議会でもたびたび梨園の維持について町へ提案書を上げてきた。今まではただ作り手を探すだけの事業だったように思う。幸い日本梨産地再生プロジェクトが発足した。今後どのように梨産地を創っていくのか。

(町長) 町としても今度のプロジェクトの趣旨に賛成して参加を決めた。現在担い手の育成ということ、地域おこし協力隊制度を活用して果樹研修生制度

の中で、梨栽培希望者を募っているところだ。

(問) プロジェクト事業の一環として若手の梨栽培者との検討会が開かれた。その中の要望として、①成園になるに時間がかかるので収入の何%かの助成する仕組みが欲しい。②ジョイント栽培などの新技術が出てきているが、初期投資がかなり必要だ。補助する仕組みはできないかなど要望が出された。また上手に梨園地を移譲していく仕組みはできないか。

(産業観光課長) うまく改善できるような流れをこれから検討し、関係機関とともに農家と連携した応援体制を作っていくことが大事だ。農地の流動化については法人立ち上げの検討会を進めている。

補助事業もあるということなので、活用していきたい。

(意見) 秋口の梨の需要は大きい。新しい品種の出現もあり、果樹栽培者には夢のある品目だと考えている。よそが衰退していくのなら、この南信州でという気概が欲しい。

(問) 農業生産資材、特に肥料の高騰が経営に大きな打撃だ。行政として対策はとれないか。

(町長) 国、県の対応が始まっている。町としては財源も必要なので、コロナ対策の財源も精査しながら、生活者の部分と合わせて検討していく。遅くとも12月議会での補正でお願いするよう考えている。

(お詫び) 質問での「不適切なたとえ」が不快であるとお声をいただいた。お詫びを申し上げ、言葉づかいに今後注意いたします。



梨の主産目「南水」
市田の果樹試験場で育種された天下の名品



塩沢貴浩 議員

問 子育て用品のリユース事業の今後は

答 おひさま LINE の活用を検討していく

ニーズの変化や利用者の減少によりベビー用品の譲渡会が現在は行われていない。フリーマーケットの開催など新たな展望を含め質問した。安全協会の現状と課題、今後の方向性についても聞いた。

いっぱん質問

(子ども課長) 以前は

(問) フリーマーケットなどのイベントでリサイクルに活用できないか。

(子ども課長) チャイルドシートやベビーカーなどは安全使用期間が設けられており交換がしにくい状況である。それ以外の物品に関しては写真などの情報をLINEで発信や情報交換に使えるか検討していきたい。

(問) おひさまのLINEなどを使い事業の継続の考えは。

(子ども課長) 提供いただく品物や利用者の減少により昨年から行われていない。

(問) おひさまで行われる子ども用品のリサイクル事業の現状は。



安全性とリユースのニーズを両立できるか

(町長) 個人または団体の皆さんの意見を聞きながら、町の施設の使用や運営に関しては手伝いができると思う。またベビーカーやチャイルドシートは安全性

(問) フリーマーケットなどイベントを開催する時、町の協力体制は。

バザーなども含め活発に活動をされていたが現在は行われていない。民間の団体が中心になつて活動ができれば検討していきたい。

(問) 各区の業務の一元化は可能か。

(町長) 皆様のご尽力で交通死亡事故500日の達成ができた。事業負担の大きさは把握している。各区により作業の一元化ができていない部分もある。

(問) 交通安全協会の現状と改善策は。

の規定が必要になってくる。それ以外の危険性のないベビー用品のニーズの把握が大事と思っている。

(町長) 町で一括でと考えると、各支会の裁量が少し小さくなり明確なルールが必要になってくる。両方のメリットデメリットを示しながら各支会の皆様と時期を含めて相談していきたい。

(問) 今後の安全協会の方向性は。

(総務課長) 現在アンケートをお願いしてきて次の三役会で議題とさせていただきます。

(問) 会費の徴収が大きな負担になっている。自治会の業務と併用できないか。

(総務課長) カーブミラー設置は区により考え方や設置技術に違いがあり対応が違っている。現在は各区に委託の形をとっている。

問 リニア対策関連事業の進捗と今後は

答 地域住民や JR と慎重に協議し進める



間瀬重男 議員

14年前 JR 東海が東京、名古屋をリニアモーターカーで1時間で結ぶという夢の一大プロジェクトを公表した。東西に向けた伊那谷交通辺地としては正に夜明けである。町に直接工事の関係はないがトンネル工事の発生土受け入れ地や活用、運搬路新設や改良工事の進捗、リニア対策について問う。

いっぱん質問

(問) リニア対策で苦
労されたことは。

(町長) 発生土運搬路
を町内だけでなく他町
村にもお願いして、分
散をしなければならな
い決断の説明というこ
とかもしれないがまだ
事業は続いているので
総括ではない。

(問) リニア対策で町
にもたらしたことは何
があるのか。

(町長) 今後の発生土
の活用や運搬路にか
かわる道路の新設改良
事業ができたというこ
とはプラスだがそここ
ろは負担という問題も現
在進行形である。

(問) 発生土の受け入
れ地は以前のとおりか。

(リニア対策課長) 前
河原道路10万㎡、福与
河原25万㎡JRへの情



進む洞進線 新設道路工事

報提供をしている。測
量などして事業実施の
要望をしている。青年
の家グラウンドについて
は跡地利用に合わせて
考えていく。外河原は
地権者から土地利用の
意向調査をしたところ
現況のままの回答が3
割あり発生土の活用は
難しいと判断した。丸
ボッキは色々な要望を
受けていて地権者全員
の考えをお聞きしたい

と思っているが、熱海
の土石流災害や清内路
のクララ沢の問題で慎
重な対応が必要となっ
てきた。

(問) 前河原道路、福
与河原整備の完成予定
と運搬路計画は。

(リニア対策課長) 現
在詳細設計ができ、地
元に投げかけJRと協
議中である。運搬路計

画は未定、福与は業者
に上物物件の調査委託
発注の状況である。

(問) 国道への洞新線
新設道路改良事業の進
捗と安全な接続計画は。

(リニア対策課長) 1
工区2工区とも順調に
進んでいる。2月上旬
に全線開通予定である。
国道153号との交差
点は内カーブで見通し
が悪く懸念されている。
信号機の必要を考え公
安に強い要望をしてい
る。勾配は緩やかな計
画にしている。

(問) リニア対策に関
し運動公園上の道路改
良でのJRとの関わり
は。

(町長) 国土交通省天
竜川河川事務所県やJR
リニア対策が続いてい
るこの機を逃さず進展
協議を続けていく。



米山郁子 議員

問 時代に沿った図書館・資料館改修か

答 ICT を含め効果的な運営を検討

松川町新図書館が開館されて31年目を迎えた。図書館・資料館の老朽化が進みいよいよ大規模改修の設計に着手、R5年度工事となる予定である。これからの図書館サービスに求められる新たな視点は、地域の人々の生活や仕事にどのように役立つのか、課題解決に向けた支援にどう役立つのかが問われる。建物の改修だけでなく、運営面も見直しの時期がきているのではないか。

(問) 施政方針では図書館・資料館改修に当たり、時代の変化に合わせ、公設図書館の機能に加え、子育てや教育といった機能の強化を図っていくとある。具体的に何を指すのか。

(町長) 1点目に、子育て世代の自己実現に役立つ豊富な情報の収集を心がけ、子育て世代のニーズに応えられる選奨を行う。

2点目は、教育施設としてキッズスペースの子ども・子育て世代向けコーナーの充実を図り、ゆつくり過ごせる居場所をつくる。

3点目は、郷土や地域に関する資料を網羅的に収集保存し、町民と資料を繋ぐ教育機能の充実を図る。

4点目は、現在行われているMMMPプロジェクトなどによる大

学生、若者の発想を生かした図書館空間づくり。5点目は、子どもたちの豊かな情操を育むため、子育て世代に向けた魅力ある各種講座の開催。町民の地域文化を育む拠点を目指していきたい。

(問) 図書館・資料館の効果的な活用ができる運営も含めた施設のあり方は検討されたのか。

(教育長) これからの運営方式としては、積極的に南信州図書館ネットワークやデジタル図書館などICTを活用していきたい。

資料館については、さまざまな遺品、公文書、古文書などもある。保存の必要なものが近年増えているので、収蔵方法の検討、データベース化も急務である。今後は先進地の事例を

参考に、ICT化を含め、より効果的な運営方法について検討していく。

(町長) 下足には賛否両論がある。賛成の意見は、老若男女が靴を履き替えずに誰もが入りやすいユニバーサル

デザイン化が図れる。図書館協議会、資料館運営委員会の各委員会では、幼児をはじめとして子どもたちが床に触ったり、寝そべったりしてくつろいで過ごせること。現在の清潔で本を大切にしている図書館であってほしいなどの理由で反対意見が多い。床暖房に支障がある。

参考にする。ICT化を含め、より効果的な運営方法について検討していく。



本棚の上にLEDが設置され明るさに工夫(塩尻図書館)

いっばん質問

問

行政評価を住民の身近なものに

答

行政評価情報を住民と共有化したい



米山義盛 議員

住民にとって行政評価がより身近なものになり、住民からの声を町行政に反映し、また、町の主権者である住民が町行政に、より主体的にかかわり「住民自治の向上」につながるような、行政評価委員会の今後のあり方を考えたい。

いっぱん質問

(問) 行政評価が自治体で取り組まれてきている経過と概要について説明を求めます。

(町長) 平成12年から地方分権推進の中で、施策の見直し業務の見える化などを目的とし、全国の各自治体で導入をされてきた。

当町では平成13年度より試行的に取り組み、平成17年度から本格的に行政評価を導入した。その目的は、①事業の目的・コスト効果を明確にし、評価を経て見直しを行うことで業務効率改善とサービス向上を図る。②職員が事業の妥当性や改善方を考えるきっかけとし、政策立案能力向上を促す。③評価結果を住民にわかりやすく公開することで、住民参加のまちづくりを推進する。また、施策効果や成果をわかりやすくするた

め、令和2年度実施分より総合計画重点項目に沿って評価項目を整理した。

(問) 8月19日に行政評価委員会が行われたが、その事務局であるまちづくり政策課の評価や考えは。

(まちづくり政策課長)

評価対象項目が多岐なので精査し、町民へわかりやすくするため課題を絞って示し、検証を経て次期計画に繋げていきたい。行政評価が住民に実感がないとのこと、町のHPでの公表のみで、今後広報まつかわなどでも住民に身近なものをピックアップアップして、周知していきたい。評価分析を行い、次年度への事業構築にも繋げていきたい。行政評価委員会通过して、課長職は他部署の事業も認識

でき、業務の内容を深められる。また議員には行政評価の資料を示しご意見をいただきながら、検討研究を深めていきたい。

(問) 今後の行政評価についての考えは。

(町長) 行政評価委員会、今は15名だが、今後行政評価委員会をより広げられるか検討が必要だ。行政評価委員

会に諮る前に、住民の代表である議員にも一旦評価をしてもらおうという形も取れるのではと考える。また、次期の第6次総合計画の策定を見据え、事業の集約化・評価の手法は研究したい。総合計画期間中における新型コロナウイルス対策のような緊急の対応は、毎年の行政評価委員会でも検討していきたい。



行政評価につながる日々の仕事



加賀田亮 議員

問 町長の3年半の実績は

答 住民が声を出すようになった

①青年の家、②元気センター、③リニア問題、④国や県に対する政治力、⑤過疎高齢化、⑥自治会問題について、3年半の実績を質した。残念ながら特筆すべき実績はほとんどないようだ。すべてが遅々として進んでいない。その原因は町長に強い信念がないことを指摘。すると急に「住民主体」「世代交代」が信念だと主張。ではその実績を質すと有機農業事業しか実績が出てこない。この3年半の間何をやっていたのだろうか。実績が全てと言われるのが政治家。覚悟が欲しい。

いっぱん質問

(問) ①青年の家、②元気センター、③リニア問題、④国や県に対する政治力、⑤過疎高齢化、⑥自治会問題、以上の3年半の実績は。

(町長) ①活用方法を検討した。②多くの住民が使えるよう検討した。③発生土運搬を解決した。福与、前河原の問題はこれから。④上片桐バイパス先線とテニスコート下クランク問題を進めた。⑤定住住宅取得祝金を増額した。⑥自治体対策会議を開いた。

(問) ①青年の家は3年半でこの程度の実績なら遅すぎるのでは。

(町長) その通りだ。

(問) ②元気センターも遅すぎるのでは。

(町長) 十分に検討し

たかったからだ。

(問) ③リニアの住民の負担に対する見返りが乏しすぎるのでは。

(町長) できる限りの補償はしてもらった。

(問) ⑤過疎高齢化問題の具体的な実績は。

(町長) 当町の良さをPRするCATV番組を作った。学校へ出前講座を行った。

(問) この3年半は、共通して「遅すぎる」「具体的実績に乏しい」傾向がある。そもそも首長として町運営に対する確固たる「信念」はあるのか。

(町長) 信念は「住民主体のまちづくり」「世代交代」の二つだ。

(問) その信念があれ

ば各問題はもつと早く処理でき、実績も多く生まれたはずでは。

(町長) 住民の声を聞く時間がかかる。

(問) 声を聞くのは行政として当たり前。信念があるのに、実績は極めて乏しいという矛盾をどう説明するか。

(町長) そんなことはない。主観の違いだ。

(意見) 3年半もの間、町政の各問題が遅々として進まず、実績も乏しいのは町長の信念と主体性・実行力に大きな問題がある。

(問) 町長が主張する信念の「住民主体」「世代交代」。この3年半の具体的な実績は。

(町長) 有機農業・食

(問) 市場が小さすぎる。町政の問題解決にどう貢献できるのか。

(町長) 評判が広まり町の魅力が向上する。

(問) 有機食料事業以外に、「住民主体」「世代交代」の実績は。

(町長) すぐには思いつかない。

(意見) 町長に確固たる信念と主体性・実行力が乏しいことは、具体的実績がほとんどないことで明らかだ。この失敗を直視して、残り半年の町政に変化が生まれることを期待する。



この町に暮らして

「ここに根を張って生きていく」

(新井北部) 北原 太志郎

「あんたはこの家のもん(者)だ。もうどこにも行っちゃいかんに。」東京での暮らしに区切りをつけて故郷の松川町にUターンしたのが12年前。祖母との二人暮らしが始まりました。その最初の日の夕食。ふだんにあれこれ言う人ではなかった祖母の口から出た一言でした。「ここに根を張って生きていく。」自分の肚(はら)が据わった瞬間でした。



土の柔らかさ、風の気持ちよさ、山々に抱かれた暮らし、

ちゃんと暗くて静かな夜。故郷にあるものは、どれもこれも新鮮で懐かしいものたちでした。組合や自治会、消防団、獅子舞保存会など、少しずつ身近なコミュニティに参加するにつれて、自分たちのことは自分たちでやる。そんな当たり前の暮らしの営みに、心地よさとありがたさを感じています。

ここ4年ほどは、松川町の観光まちづくりの仕事に携わっています。くだもの農家さん、野菜づくり名人、飲食店のご主人、お寺の住職、自然体験のガイドさん、宿泊業に携わる方、森づくりを担う方：この町に暮らす多くの方々との出会いをいただいています。どなたもここでの暮らしや仕事を楽しんでいて、その人らしく生きている。さて、自分はどうか。先祖が遺してくれた田畑や森や古民家を、外に開かれた出会い

I Have a Dream!

私には夢がある
未来に羽ばたく若者●子どもたち



松川中学校卓球部

卓球部は2年生6人、1年生9人で男女一緒に活動しています。普段は基本打ちや自分の課題を克服するための練習をしています。今は10月の新人戦に向けて、個人の力が高まるように、練習に真剣に取り組んでいます。長時間の練習はできない状況ですが、良い結果につながるよう精一杯頑張ります。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

の場として活かしていきたい。風の人(他所から訪れる方)と土の人(この地域に暮らす方)が出会い、新しい風土が生まれる場を創っていきたい。そんな想いで、田植えや稲刈りイベント、森で過ごす一日、焚き火で一杯やる会、ライブ会場、キャンプ場としての提案など、ひとつずつできることから形にしていっています。今年、104歳で天寿を全うした祖母。12年前の一言を忘れて、さらに根を深く張って生きていきたいと思えます。

広報部 (編集委員会)

- (部長) 米山 郁子
- (副部長) 米山 義盛
塩沢 貴浩
- (部員) 松井 悦子
米山 俊孝
中平 文夫

あとがき

議会改選から2年、「読み手にやさしい議会だより」として表紙や一般質問ページなどレイアウト見直しに取り組みました。1期議員2名もなれない作業のなか頑張りました。このメンバーでは最後の号となりました。不備な所もありましたがご容赦いただければ幸いです。多くの皆様のご協力とご支援を頂きましたことありがとうございました。(広報部一同)